

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	経営学入門（Guide to Business Administration）		
ナンバリングコード	E10102	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 基礎レベル 専門基礎
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 前期
必修・選択区分	必修:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E012103	クラス名	前期
担当教員名	橋本 堅次郎、山内 勝義、黄 賀		
履修上の注意、 履修条件	考える力をしっかりと養うとともに、専門知識の習得をするつもりで授業に出席すること。目と耳の集中力を高め、情報を整理しながら受講すること。考えると考え抜くは違うことを理解・実践する。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	経営学のことが面白いほどわかる本(笠原英一、中経出版)、1からの経営学(加護野忠男、吉村典久、中央経済出版)、はじめの一步経営学(守屋貴司、近藤宏一、小沢道紀、ミネルヴァ出版)		
関連科目	流通経営論、経営学総論、マーケティング関連科目、起業学		

○基本情報		
授業の目的	経営学とは「世の中の変化に対応し、組織を通して成果を出すことである」という点について、大きく①世の中の変化 ②戦略 ③組織 ④人（リーダーシップおよび個人特性）⑤組織文化に分けて授業を進め、経営学の全体像を理解してもらうことを目的としています。 また経営者の人間性にも触れることで学生諸君の人間力を養うことも目的としています。	
授業の概要	経営の全体像はもちろん、経営者など過去・現在の著名人の名言も交え経営の知識だけでなく、経営者の持つ人間性についても学んでいきます。講義は①前回の復習 ②今日の名言 ③授業テーマと資料 ④DVDや画像の紹介 ⑤振り返りレポートの作成という内容で進めます。一方的な講義にならないようにできる限り質問を交えながら授業を進め、学生諸君が自ら考える内容にしていきます。また自発的な発言を重視しており、双方向の授業と学生諸君の討議についても授業に組み込みます。毎回のレポートを通して、授業で得た識見を文字で表現することを学んでください。さらに他の学生のレポート内容を知ることで識見の幅を広めてください。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	【橋本堅次郎】本授業に関する実務経験として、百貨店、婦人服専門店における営業、販売促進、商業施設開発、グループ企業の再建経験を有す。またコンサルタント会社における経営指導経験、食品業(東証1部)における上場担当取締役、管理本部長としての経験、内装会社におけるフランチャイズ展開企業支援経験、アミューズメント企業における商圈開発経験、個人事業主としての起業経験を有す。 【山内勝義】30年以上大手企業のコミュニケーション戦略の策定・実施に携わり、広報作業や危機管理作業 不祥事対応等の実務経験も豊富。また、年商500億円超の大企業の専務取締役として	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	経営学における基礎的知識を学び実践的な知識を習得出来ている	30%	10%	
【ディプロマ・ポリシー②】	経営分野の基礎的知識を統合し、経営課題について解決策を論理的に説明できる	10%	10%	5%
【ディプロマ・ポリシー③】	経営学の知識を活用して様々な社会的事象にチャレンジする意欲を身につけている	5%	20%	10%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
[Sレベル]到達目標を満たしている。 [Aレベル]到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]到達目標を一部満たしている。 ・レポートは、授業時に指示される注意事項に従って締切日まで提出してください。すべて提出した場合は、評価の対象とします。 ・授業に欠席や遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。 ・配布資料の概説や実習問題などを通して、授業内容や課題のフィードバックができるようにします。

○その他
双方向授業とは、教員と学生が双方で対話をしながら授業を展開する形態のことである。そのメリットとしては「コミュニケーション能力の向上である」問題に対して、深く考え、伝える、巻き込むなどの力を身に付ける。さらに、他者の意見を聞く、傾聴力も身に付ける。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	経営学入門（Guide to Business Administration） 橋本 堅次郎、山内 勝義、黄 賀	授業コード	E012103
学修内容					
1. オリエンテーション					
講義の目的と概要説明大学で学ぶことの意義。また経営学とは何か、経営学は何の役に立つのかについて考えます。世の中に変化をつかんで業績を上げる企業の事例を紹介します。					
予習	経営学とは何かについて事前学習				約2時間
復習	授業手ポートの作成・提出				約2時間
2. 経営学とは何か？					
経営学とは何かについて学生諸君と意見を交換しながら進めて行きます。また社長の失敗や参考としてソフトいバנקの孫正義氏のエピソードも交えながら授業を進めます。					
予習	創業経営者についての事前学習				約2時間
復習	授業手ポートの作成・提出				約2時間
3. マーケティングの基本①「4P」					
顧客に対する様々な施策がマーケティングであり、マーケティングの基本の4Pを中心に講義を進めます。事例としてヘルシア緑茶や保湿クリームの事例を取り上げます。					
予習	マーケティングの4Pについての事前学習				約2時間
復習	授業手ポートの作成・提出				約2時間
4. マーケティングの基本②「製品ライフサイクル」					
マーケティングだけではなく経営において重要な考えたかである「製品ライフサイクル」を取り上げます。事例を取り上げながらライフサイクルの考え方や種類、イノベーター理論とキャズムについても紹介します。					
予習	製品ライフサイクルについての事前学習				約2時間
復習	授業手ポートの作成・提出				約2時間
5. 企業の戦略①「コンビニエンスストアの戦略」					
戦略とは競争相手に対抗するために施策が戦略であり、学生諸君にとっては身近なコンビニエンス業界を事例として取り上げます。特に業界1位のセブンイレブンの戦略についてクイズ方式で学生諸君の戦略理解を高めます。					
予習	セブンイレブンの戦略についての事前学習				約2時間
復習	授業手ポートの作成・提出				約2時間
6. 企業の戦略②「コンビニエンスストアの戦略」					
前回に引き続き、セブンイレブンの次の変化に向けたIT戦略を取り上げます。またプライベートブランド戦略についても他社事例も交えて紹介します。					
予習	コンビニのプライベートブランド(PB)についての事前学習				約2時間
復習	授業手ポートの作成・提出				約2時間
7. 企業の戦略③「市場の地位戦略」					
事業戦略をテーマにします。フィリップコトラーの市場の地位戦略を取り上げます。自動車業界の事例やホンダの事例、ハンバーガー業界の事例から市場の地位戦略についての理解を深めます。					
予習	市場の地位戦略についての事前学習				約2時間
復習	授業手ポートの作成・提出				約2時間
8. 企業の戦略④「競争戦略:コストリーダーシップ戦略」					
マイケル・ポーターの「3つの戦略」をテーマに取り上げます。①コストリーダー戦略 ②差別化戦略 ③集中戦略について紹介し、飲食業界をテーマに「コストリーダーシップ戦略」についての理解を深めます。					
予習	コストリーダーシップ戦略についての事前学習				約2時間
復習	授業手ポートの作成・提出				約2時間

○授業計画	科 目 名	経営学入門（Guide to Business Administration）	授業コード	E012103
	担当教員	橋本 堅次郎、山内 勝義、黄 賀		
学修内容				
9. 企業の戦略⑤「競争戦略:差別化戦略」				
競争戦略に関してアンゾフの製品市場戦略に関してコカ・コーラを取り上げます。また、シナジーについて理解し、マイケル・ポーターの差別化戦略について飲食業を事例に取り上げ競争戦略についての理解を深めます。				
予習	差別化戦略についての事前学習			約2時間
復習	授業レポート作成・提出			約2時間
10. 事業定義				
レビッツのマーケティングマイオピアの考え方を、事例を取り上げながら理解を深めます。普段の学生諸君の身近な生活の中にも事業定義が活きていることを理解します。色々な企業の事例を取り上げます。				
予習	マーケティングマイオピアについての事前学習			約2時間
復習	授業レポート作成・提出			約2時間
11. 組織と人①「チームマネジメント」				
戦略を実行するためには組織・チームが必要であり、授業ではチームマネジメントについて取り上げます。もしドラをテーマにチームマネジメントについて考えます。デビットナドラーとGEのチームモデルにをベースに授業を進めます。				
予習	強いチームとは何かについての事前学習			約2時間
復習	授業レポート作成・提出			約2時間
12. 組織と人②「リーダーシップ」				
リーダーシップとは何か偉人の名言や事例を取り上げ理解を深めます。リーダーシップの事例を取り上げ、学生諸君がリーダーシップを発揮するためにはどうするか授業の最後にレポートを作成します。				
予習	リーダーシップとは何か、行動についての事前学習			約2時間
復習	授業レポート作成・提出			約2時間
13. 組織文化と経営「企業不祥事」				
経営全体に大きく影響を及ぼすのが「組織文化」です。組織文化とは何で、どのような組織文化があるのか？企業不祥事を事例に経営の全体像と組織文化についての理解を深めます。				
予習	企業不祥事についての事前学習			約2時間
復習	授業レポート作成・提出			約2時間
14. 組織文化と経営「文化の類型」				
前回取り上げた事例から、特に組織文化とは何で、どのような組織文化があるのか？組織文化の類型を学び身近に当てはめて組織文化を考えます。				
予習	組織文化についての事前学習			約2時間
復習	授業レポート作成・提出			約2時間
15. 講座のまとめ				
授業まとめとして個人に焦点を当てます。経営は個人の集合体です。学生諸君が知識を身に付け見識を持ち、社会に出て活躍するためにはどのように考え行動したらよいか。諸君に意見を交換をしながらまとめとします。				
予習	14回の講義での印象に残っている授業についてのまとめ			約2時間
復習	授業レポート作成・提出			約2時間
16. 期末試験				
授業で配布したプリント、毎回作成したレポート、ノートのみ持ち込み可。				
予習				
復習				